

ファミリーニュース

編集発行

カトリック一宮教会事務局広報委員会

〒491-0044 一宮市大宮1-7-1

TEL (0586) 73-4884

FAX (0586) 59-5884

ホームページ版

1月号

2025

わたしたちの負い目をゆるしてください あなたの平和をお与えください

主任司祭 太田 実

毎年、1月1日は「神の母聖マリア」の祭日であると共に、「世界平和の日」でもあります。今年第58回「世界平和の日」の教皇メッセージのテーマは、「わたしたちの負い目をゆるしてください、あなたの平和をお与えください」です。

このメッセージは、四つの段落、15項目で構成され、最後の段落は平和の祈りで結ばれます。このメッセージの要約をしましたのでご紹介します。

I. 危機に瀕する人類の叫びを聞いて

2025年の通常聖年の年にあたり、教皇は「すべての人に、とりわけ自身の境遇に打ちひしがれ、自らの過ちに苛まれ、他者の裁きに押しつぶされ、もはや人生に光なく未来が描けずにいる人にこそ、平和があるようせつに願っています。」という言葉でメッセージを始めます。

「聖年は、解放という神の義を地上のすべてに求めるよう、わたしたちを駆り立てる出来事」であることを思い起こさせ、「助けを求める必死の訴え」に耳を傾けるよう促します。

地球という共通の家を破壊する責任を一人ひとりが負う必要があります。

そのために、「各所で慈善活動を積み重ねるだけでは足りません。それ以上に、持続的な変化をもたらすには、文化的・構造的な変革が必要」です。

II. 文化の変革——わたしたちは皆、負い目がある

聖年は、「不正義と不平等の現状に立ち向かうため、わたしたちにさまざまな変革を促すものであり、地上の富は一部の特権階級だけのものではなく、すべての人のものであることを思い起こさせ」る機会です。

富裕国の政府や民間金融機関は、「自国市場の需要を満たすために、貧困国の人的資源・天然資源を見境なく搾取し」続けていることを指摘し、対外債務の帳消しに向けた取組を進めるよう促します。

この危機を乗り越えるためには「わたしたち皆が御父の子であるとの自覚をもち、神のみ前ではだれもが負い目のある者であるとともに、皆が互いを必要としているのだと告白する」必要があります。

Ⅲ. 希望の旅路——取りうる三つの行動

聖年を機に取りうる三つの行動を教皇は提案します。

1. 「多くの国々の将来に深刻な脅威となっている累積債務をすべて帳消しにしないまでも、大幅に削減する」。
2. 「受胎から自然死に至るまで、人間のいのちの尊厳の尊重を促進するための、断固とした取り組みを」する。
3. 「軍事費のせめて一定の割合を、飢餓撲滅と、持続可能な開発を促して気候変動に立ち向かえるようにするための最貧国での教育活動を支援する世界基金」を設立する。

Ⅳ. 平和というゴール

「提案された行動によって希望の旅を始める人は、平和という悲願のゴールが近づいてくるのを見る」と教皇は言います。

そして、「2025年が、平和の広がる年となりますように。条約の細則の解釈や人間の妥協の場にとどまらない、真の永続的な平和です。真の平和を求めましょう。武装を解いた心に、神が与えてくださる平和を。」それは、「どこまでが自分のもので、どこまでが相手のものか計算することに固執しない心、自己中心性が砕かれ、他者との出会いに向かう意欲のある心、神に対して負い目がある自分であることをきっぱりと認め、だからこそ、苦しむ隣人の負い目をゆるす心、この世界にとってはすべての人が財産であるという希望を抱き、未来への不安を乗り越える心」です。

昨年1月1日には能登半島地震があり、その後の豪雨災害により、甚大な被害を受け、いまだ復旧の目処が立っていない地域が多くあると「のと災害支援センター」長の片岡義博神父が報告し、支援を求めています。

日本政府は能登の災害復興に向けて尽力すると言いますが、実際には復興の課題は山積しています。

「自身の境遇に打ちひしがれ、自らの過ちに苛まれ、他者の裁きに押しつぶされ、もはや人生に光なく未来が描けずにいる人」は能登半島地震の被災者の中にも数多くいます。



祈りの内に2025年を始めましょう。

主よ、わたしたちの負い目をゆるしてください、
わたしたちも自分に負い目のある人をゆるします。
この互いにゆるし合う輪の中に、あなたの平和をお与えください。

心の武具を脱ぎ去った者たちに、
希望をもって兄弟姉妹の負い目をゆるそうとする者たちに、
あなたに負い目があることをすすんで告白する者たちに、
貧しい人の叫びに耳を閉ざすことのない者たちに、
あなただけが与えることのできる平和をお与えください。

日本語全文は中央協議会ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.cbcj.catholic.jp/category/document/docpope/peace/>

各国語版は以下の教皇庁ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.vatican.va/content/francesco/en/messages/peace.index.html>

主の御降誕おめでとうございます

12月24日(火)にクリスマス夜半のミサが行われ、多くの方がミサに与りイエスさまのご降誕をお祝いしました。

24日、25日にはお子様にお菓子のプレゼントが配られました。



補修積立金の報告

一宮教会の補修立献金にご協力いただきありがとうございます。ベトナム語、タガログ語のミサでもご協力いただいています。引き続きよろしく願いいたします。

◆現在の積立額(2024年12月15日現在)

¥

印刷版に掲載しています。
教会入口スタンドにあります。



・聖堂への雨漏りは11月末にて3カ月程の確認期間を経て一旦終了

印刷版に掲載しています。
教会入口スタンドにあります。

・司祭館サッシ取り換えは11月26日～11月30日にて工事終了

印刷版に掲載しています。
教会入口スタンドにあります。

事務局よりお知らせ

任期満了に伴い来年度の信徒代表の立候補および推薦を受け付けています。受付期間は2月9日(日)正午までです。届出用紙と受付箱は聖堂前にあります。

自薦、他薦を問いませんが、他薦の場合は必ず本人の承諾を得てください。

2025年新成人と共に祝う「教区新年の集い」

日時 2025年1月12日14:00～

場所 カトリック布池教会大聖堂

主司式 松浦悟朗司教

内容 教区新年のミサ

ミサの中で新成人の祝福式を行います。

ミサ後、地下ホールで茶話会があります。

世界平和の日 1月1日

教皇パウロ六世は1968年1月1日、ベトナム戦争が激化するなか、平和のために特別な祈りをささげるよう呼びかけました。それ以来、全世界のカトリック教会は毎年1月1日を「世界平和の日」とし、戦争や分裂、憎しみや飢餓などのない平和な世界が来るように祈っています。

平和はキリスト教そのものに深く根ざしています。キリスト者にとって平和を唱えることは、キリストを告げ知らせることにほかなりません。新年にあたって「信仰の原点に立ち戻り、すべての善意ある人々と手をたずさえて、平和な世界の実現に向かって、カトリック信者としての責任を果たしていく」(日本司教団『平和への決意』)ことができるよう決意を新たにしたいと思います。

カトリック中央協議会ホームページより引用<https://www.cbcj.catholic.jp/calendar/kiganbi/>

転 出



印刷版に掲載しています。
教会入口スタンドにあります。

名古屋教区南山教会へ



いつまでもお元気で

訃 報



印刷版に掲載しています。
教会入口スタンドにあります。

2024年12月23日 帰天



永遠の安息をお祈りいたします

2025年1月のミサの意向 (12月26日までの申し込み分)

印刷版に掲載しています。
教会入口スタンドにあります。

カトリック一宮教会ホームページ

<https://www.catholic-ichinomiya-church.org/>

カトリック一宮教会

検索



公式LINEの登録はこちらから



～声なき声を聴き、ともに歩みながら～

カリタスのとサポートセンター

住所：金沢市広坂1-1-54 カトリック金沢教会内

TEL：070-1220-7495

E-mail：noto.saposen@gmail.com

あなたの小さな助けを必要としています

能登半島被災地ボランティア



1/15～4/13 (第4フェーズ) まで
ボランティアしていただける方を
募集しています！
個人でも・グループでも！
お気軽にお申込みください！

～現在の主な活動内容～

- ・七尾市内、輪島市内でのサロン活動「じんのびカフェ」
(コミュニティー支援)
- ・七尾市 民間災害ボランティアセンター
「おらっちゃ七尾」との連携による活動
(家屋の片づけなど)
- ・輪島市における他の団体との連携による活動
(物資支援、送迎支援など)
(活動内容は被災地の状況により変わる場合があります)



～ボランティア申込はネットから～

下記のQRコードから、
募集要項をよくお読みいただき、
Google フォームよりお申込みください。
名古屋教区ウェブサイト、「のとセン」ブログ
Facebook からアクセスできます！



～募集要項～



～申込フォーム～

～1月からボランティア受け入れを大幅改定します！～

- ① **水曜日**から**日曜日**までの受け入れが可能に！
(火曜日夕方ベース入り、日曜日活動終了まで)
- ② 宿泊は **1泊**から**最大5泊**までお好きな曜日で活動可能に！
(日曜日・月曜日は宿泊できません)
- ③ **日帰りのボランティア**も可能に！
(ただし、七尾ベースに朝7時半～8時の間に到着可能なこと)